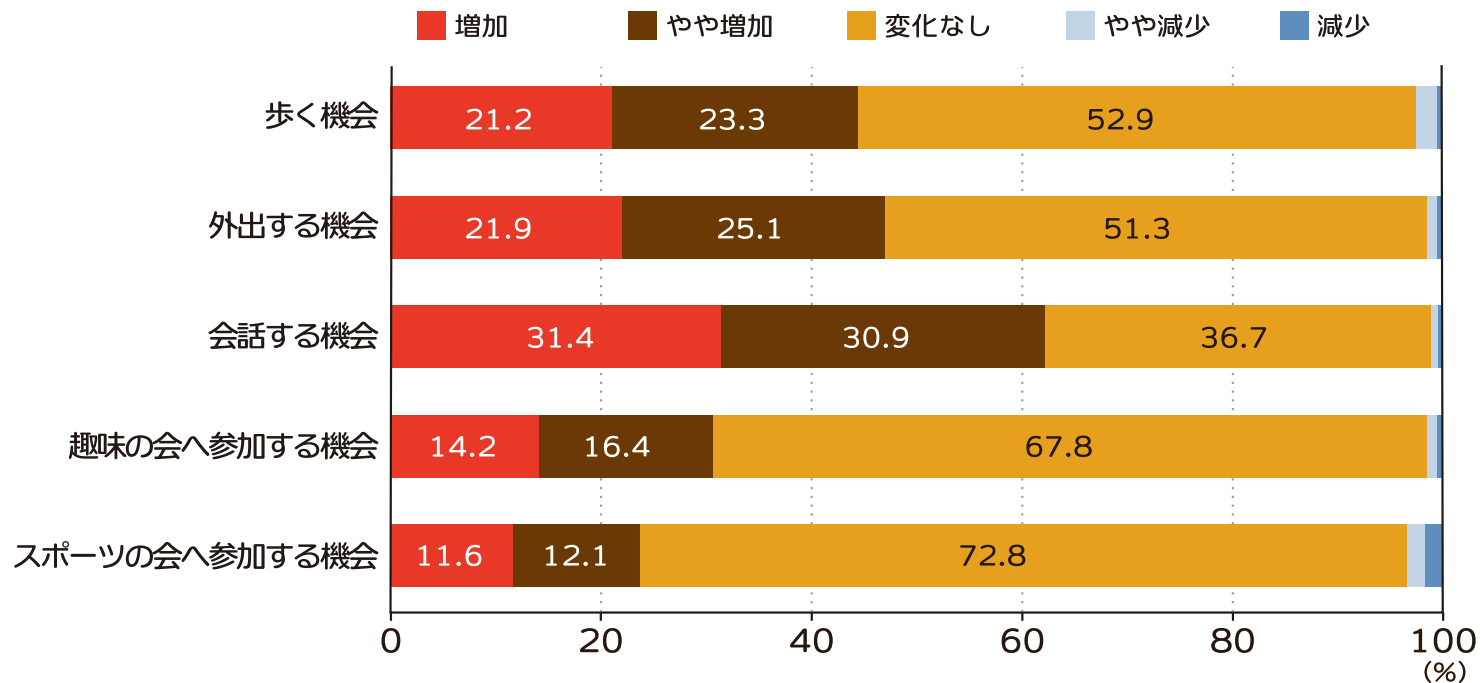


評価視点 5

参加者による変化の自己評価



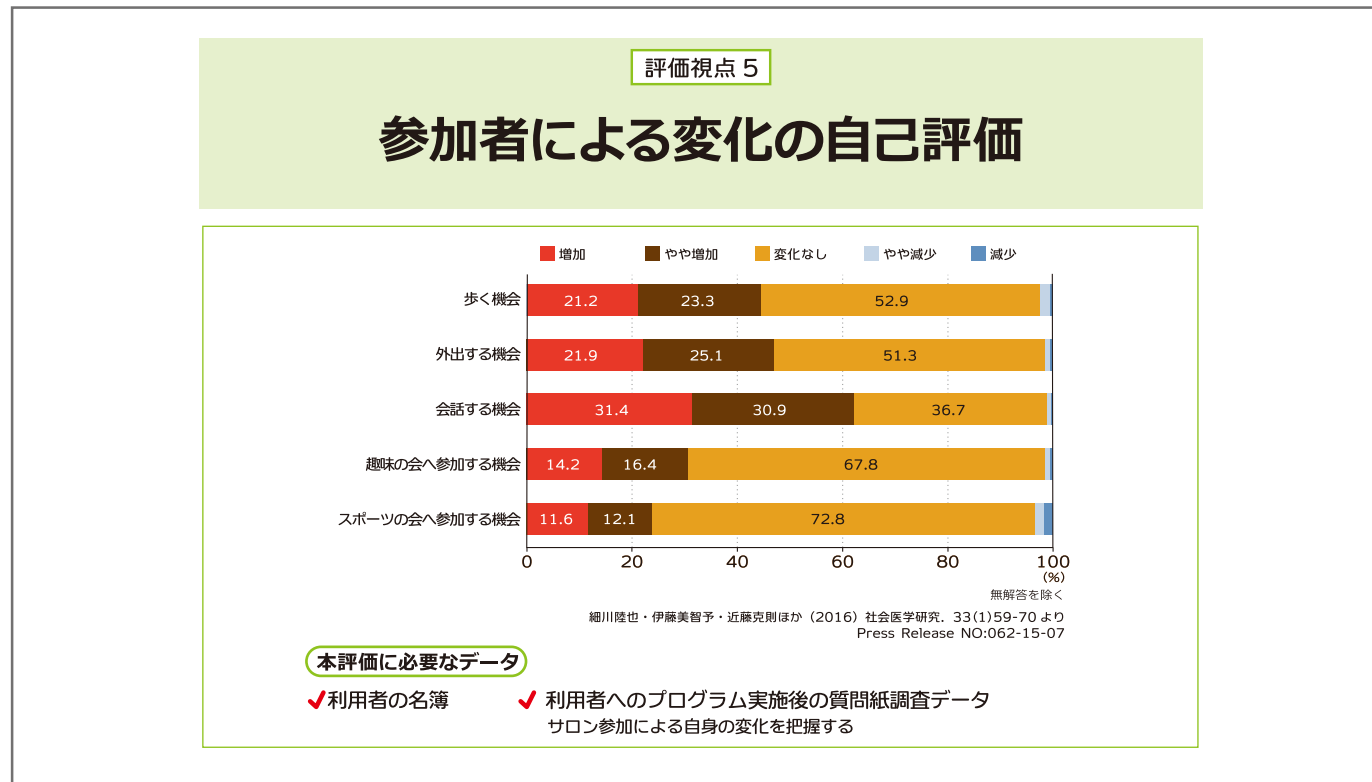
無解答を除く

細川陸也・伊藤美智予・近藤克則ほか (2016) 社会医学研究. 33(1)59-70 より
Press Release NO:062-15-07

本評価に必要なデータ

- ✓ 利用者の名簿
- ✓ 利用者へのプログラム実施後の質問紙調査データ
サロン参加による自身の変化を把握する

◆スライド解説



解説

- 特定の活動への参加者の参加前後の自己評価に基づいて、参加による効果を簡便に把握したもの。(本結果は愛知県A市での「健康交流の家」への参加者への質問紙調査データを分析したもの)
- 自己評価である点に留意する必要があるものの、本事業が「歩く機会」、「外出頻度」、「会話の機会」の増加には寄与している可能性があることが示唆されている(なお、効果を感じている人のみが事業に継続参加している可能性も否定できないため、厳密には「当該事業の効果」とは言えない)。
- こうした結果を示すためには、参加者の名簿に加えて、事業参加前後での質問紙調査データが必要(サロン参加者だけ良い)。

